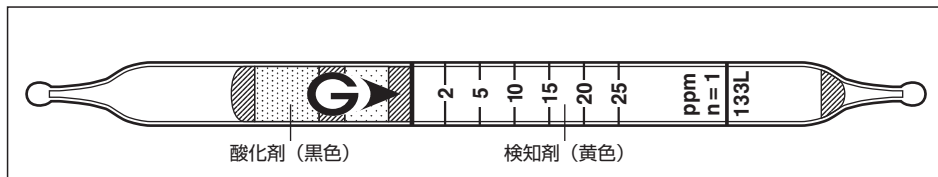


テトラクロロエチレン $\text{Cl}_2\text{C}:\text{CCl}_2$

No.133L

Tetrachloroethylene



仕 様

測定範囲	1 ~ 2 ppm	2 ~ 25 ppm	25 ~ 75 ppm
吸引回数	2回 (200ml)	1回(基準) (100ml)	1/2回 (50ml)
係 数	1/2	1	3
測定所要時間	1.5 分	45 秒	30 秒

検知限度： 0.4 ppm (2回吸引)

変 色： 黄色 → 桃色

温・湿度補正： 温度

有効期間： 30か月 冷蔵庫保存 (10℃以下)

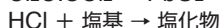
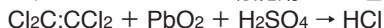
指示精度：

G	CV=10%	CV=5%
	目盛範囲の1/3	目盛範囲の2/3

(CV：変動係数 = σ ：標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

反応原理

テトラクロロエチレンは酸化剤により塩化水素を生成し、指示薬は桃色を呈する。



干渉ガス

ガ ス 名	共存濃度	干 渉	単独の場合
アセトン	200ppm以下	影響しない	変色しない
一酸化窒素、二酸化窒素		影響しない	変色しない
塩化水素、塩素、臭素	100ppm以上	+	桃色に変色
不飽和ハロゲン化炭化水素		+	桃色に変色
芳香族炭化水素		-	変色しない

この検知管で測定できる他のガス

ガ ス 名	換算方法	吸引回数	測定範囲
ペンタクロロエタン	係数：20	1	40 ~ 500 ppm

校正用ガス

ガス拡散管法